

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

広島県

行事名称	第67回文化財防火デー 火災防ぎょ訓練
実施期間・日時	令和3年1月22日(金) 10時~11時
実施場所	照源寺境内(広島県尾道市御調町神174番地)
主催者	尾道市消防局、尾道市消防団、照源寺

■実施内容

訓練の想定

照源寺本堂の祭壇に設置しているローソクが地震により倒れ出火し、延焼拡大中である。強風により庫裏及び涅槃像収蔵庫へ延焼危険がある。また、周囲には観光客数名が参拝中で、負傷者が1名発生している。尾道市に乾燥注意報が発令中である。なお、当日の気象条件は、天気：晴れ、風向：北、風速：5mとする。

訓練の内容

火災の発見・通報・初期消火・避難誘導及び文化財搬出、火災防ぎょ等

参加者及び役割分担

消防局警防班：訓練開始終了報告・事前広報及び訓練進行の説明

消防局予防班：発見・通報・避難誘導・初期消火及び文化財搬出訓練等の指導

消防局通信班：通報による出動指令、情報伝達訓練

消防署：全体統括・火災防ぎょ活動(一斉放水訓練)

消防団：訓練開始終了報告・火災防ぎょ活動(一斉放水訓練)

照源寺関係者：発見・通報・避難誘導・初期消火及び文化財搬出訓練

尾道市文化振興課：現場立会

特に工夫した点

納骨堂へ実放水による一斉放水訓練を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、全員マスク着用のうえ訓練を実施した。

問題点・課題

火災等に備え、文化財搬出及び避難誘導等が迅速に行うことができるように日頃から確認しておくことが課題である。

その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を認識する機会となるため、今後も継続して訓練を実施することが重要である。

訓練風景

別紙のとおり



訓練開始報告



初期消火



文化財の搬出



負傷者の救助



一斉放水



講評（訓練終了後）